

図2 気管支の区域

$B^1 \cdot B^2 \cdot B^3$ のような気管支の分岐に合わせて、肺は右上葉が $S^1 \cdot S^2 \cdot S^3$ の、中葉が $S^4 \cdot S^5$ 、下葉が $S^6 \cdot S^7 \cdot S^8 \cdot S^9 \cdot S^{10}$ の10区域に、左上葉が $S^{1+2} \cdot S^3$ 、 $S^4 \cdot S^5$ 、下葉が $S^6 \cdot S^8 \cdot S^9 \cdot S^{10}$ の8区域に分けられる。

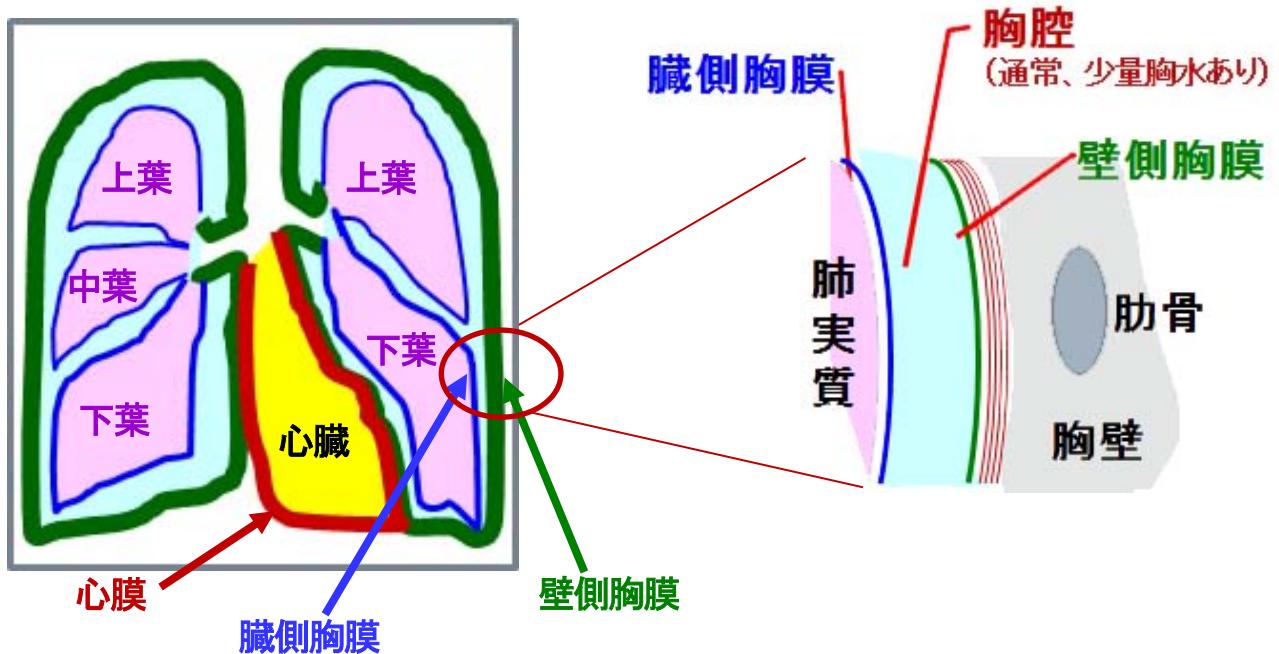


図3 胸膜について

- ◎ 肺実質から発生した肺癌が、直接浸潤して拡大する場合は、
1) 臓側胸膜 → 2) 壁側胸膜 → 3) 胸壁あるいは縫隔に浸潤していく。

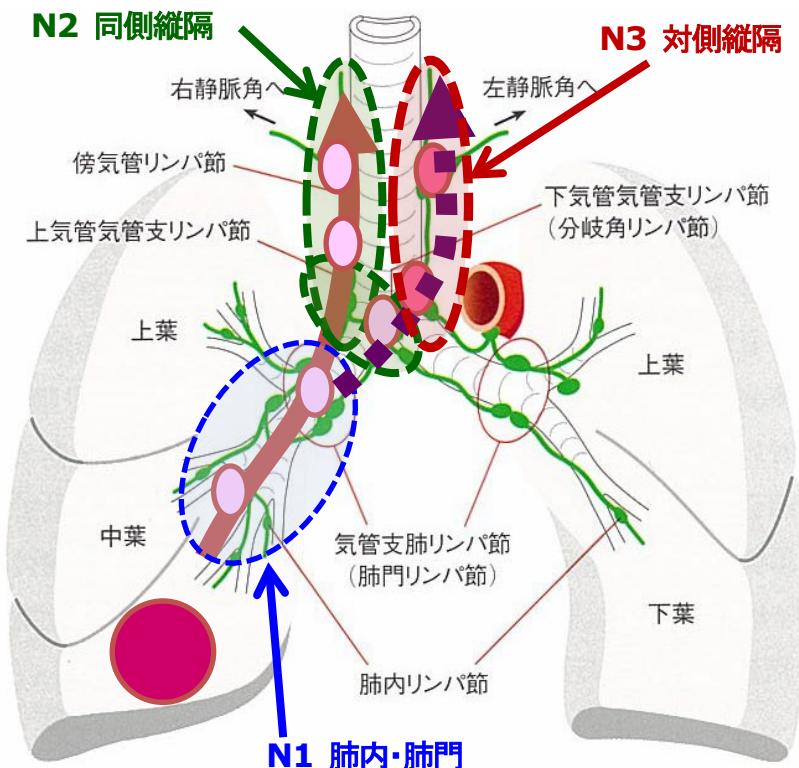


図6 肺癌の領域リンパ節

M-遠隔転移【530】【630】

画像所見(CT/MRI、超音波検査)等から遠隔転移を評価する。

- M0** 遠隔転移なし
- M1** 遠隔転移あり
 - M1a** 対側肺葉の副腫瘍結節
胸膜または心膜の結節、悪性胸水、悪性心囊水を伴う腫瘍
 - M1b** 1臓器への単発胸郭外転移
 - M1c** 1臓器または多臓器への多発胸郭外転移

8. 参考文献

- 1) 公益財団法人がん研究振興財団 がんの統計 '21
- 2) 国立がん研究センター・がん対策研究所 院内がん登録 2016 年全国集計
- 3) UICCTNM 悪性腫瘍の分類 第 8 版(金原出版)
- 4) 日本肺癌学会編 EBM の手法による肺癌治療ガイドライン 2017 年版(金原出版)
- 5) 国立がんセンター中央病院内科レジデント編 がん診療レジデントマニュアル第 7 版 2016 年(医学書院)
- 6) 日本肺癌学会編 臨床・病理肺癌取扱い規約 2017 年 1 月第 8 版(金原出版)
- 7) がん薬物療法ガイド レジメン+薬剤情報 2016 年 6 月第 1 版(医学書院)
- 8) 日本肺癌学会編 肺癌診療ガイドライン 2017 年版 IV 期非小細胞肺癌薬物療法 2017 年(金原出版)
- 9) 日本肺癌学会編 肺癌診療ガイドライン 2018 年版 2018 年(金原出版)
- 10) 國際疾病分類腫瘍学 第 3.1 版(厚生労働省政策統括官(統計・情報政策担当)編集)
- 11) 國際疾病分類腫瘍学 第 3.2 版 院内がん登録実務用
- 12) がん診療連携拠点病院等 院内がん登録標準登録様式 2016 年版